

## 年次報告書 2022

# 子どもたちの明日





## 年次報告書によせて

皆様初めまして。関口晴美さんの後を引き継ぎまして、2022年度より代表理事を務めさせていただきます藤川祥子と申します。2020年度から理事として学ばせて頂いておりましたが、この度、歴史あるCYRの活動にさらに深く関わらせて頂くことになりましたこと、大変光栄に思うとともに、緊張もしております。どうぞよろしくお願い申し上げます。

さて当会は、1980年より40年以上にわたって、皆様の温かいお気持ちに支えられております。カンボジアの子どもたちが健やかに育つための活動にお寄せ頂いているご支援に、心より感謝申し上げます。

2022年5月23日、国連難民高等弁務官事務所（UNHCR）は世界で難民状態にある人の数が1億人を越えたと発表しました。今まさに、「内戦で壮絶な体験をしたカンボジアを、難民を出さない国にする」と決意し、難民キャンプ閉鎖後もカンボジア国内で子どもたちを支え続けてきた先輩方の理念と実践の大切さを改めて感じ、心に刻んでいます。

ここ数年、CYRでは、プノンペン事務所が主体となって活動を考え、資金集めをしていけるよう組織基盤の強化を行なっております。引き続き、日本の皆様と連携しながら、ともに世界の平和を考え、子どもたちに寄り添う活動を進めていく所存です。2022年度も皆様のお力添えを賜りたく、どうぞよろしくお願い申し上げます。



代表理事 藤川 祥子

## 2021年度事業報告と2022年度事業計画

### ▶ I カンボジア事業

#### 1. カンボジア保育事業

##### 1) 村の幼稚園

①3月7日以降「村の幼稚園」は全て休園となり、「国際子どもの日」のイベント、保護者会なども中止となった。保育者は子どもたちが家庭で学習できる教材を配布し、保護者にも同席してもらい、使いかたの説明を行った。保育チームは保育者から保護者に教材の使い方を説明する集まりに同席し、実際に使ってみての課題を確認し、アドバイスをを行った。保護者たちは子どもの学習に対し積極的に関与するようになった。

10月に「村の幼稚園」保育者と地域幼稚園の保育者を対象に地域幼稚園の保育活動に必要な保育技術と管理方法を学ぶ研修が行われた。州や郡の幼児教育担当がトレーナーを務め、地区の女性と子ども事業担当者も参加し、教材製作やクラスの計画づくりを学び、5月から7月分の教材を実際に作成した。



## 目次

年次報告書に寄せて・目次	2
2021年度事業報告と2022年度事業計画	
I カンボジア事業	3
II 日本国内事業	5
2021年度 数字とグラフで見る 幼い難民を考える会	
・2021年度決算・監査報告書・2022年度予算	7
・活動収支年度別推移表	9
幼い子どもと女性の自立のために当会を支えている人々と団体	
・2021年度 補助金受け入れ先、寄付者、みんなで布チョッキン実施団体	10
わたしたちの組織	
・会員数、寄付者数、役員、職員、活動履歴	11





12月には140名が7ヶ所の「村の幼稚園」を卒園し、1月から各「村の幼稚園」は新学年を迎え238名が登録した。教室に子どもが集まってクラスが再開し、補助給食も毎日提供されている。1月と3月は保育チームがモニタリングを行い、保育者の子どもたちへの教え方、記録簿などの管理状況を確認し、アドバイスした。

その他、ピアムポベッチとトロピエンプリンの「村の幼稚園」にシーソーと屋根付き滑り台を設置した。

②新規に「村の幼稚園」をコンポンチュナン州内に3ヶ所開設した。開園に先立ち、保育者は20日間の事前研修を受けた。2022年度は新たに2ヶ所の「村の幼稚園」を開設予定である。

③7月から9月にかけて、自主運営に移行した4園を訪問し運営がスムーズに行われているか確認した。「村の幼稚園」と同じ家庭学習用の教材を使用し、保護者が子どもの学習を手伝っている。クランリブ村、バックプノン村の幼稚園と園舎建設を支援したトノルタサエン地域幼稚園の3園は地域幼稚園のスタンダードに認定され保育者は政府から給与の支払いを受けられることとなった。

## 2) 公立地域幼稚園との保育者研修、地域のネットワークづくり

「村の幼稚園」の保育者と地域幼稚園の保育者の意見交換、訪問観察を1泊2日で実施した。お互いの実践方法、取り入れたい点など学びあいの場となり2022年度も継続して行う計画である。

## 3) 地域や他の機関・ひとへの支援

9月は4日にわけて96名、11月は3日にわけて68名のコンポンチュナン州の地域幼稚園の保育者が参加し、教材と遊具の使い方の研修と教材遊具セットの提供をおこなった。また、フォローアップを実施し、一部の保育者に改めて使い方の指導を行った。

また、タケオ州の図書館運営を支援した。2022年度より、図書館は地域が運営を継続する。

## 4) 奨学金

コンポンチュナン州の保育者を志望する2名に奨学金の支給を継続し、ポン・スレイニさんとベン・セラーさんが公立幼稚園教員養成所を卒業した。秋からはCYKの保育アシスタントとしてモニタリングや各種の研修会に同席し、講義で学んだ内容を保育の現場に活かしながら、保育者として働きはじめるための学びを続けている。2022年度は新たな奨学金希望者の募集は行わない。



## 3. 管理運営

### 1) 体制

プノンベン事務所では、フルタイムスタッフ6名、パートタイムスタッフ2名で事業を実施した。

4月に採用した保育調整員はコロナ感染と出産等が重なり、勤務できない期間は事務所長が業務を代行した。教員養成所を卒業して働き始めた保育アシスタントたちは保育アドバイザーから指導を受けながら保育支援活動にあたった。

### 2) 事業基盤の強化

カンボジアで資金調達ができるよう、日本企業の助成金を得て、資金調達の研修を受け組織基盤強化に着手した。教育省、州や郡の幼児教育担当、地区や村の幼稚園運営の関係者、保育者たちにヒアリングをもとに5ヶ年の事業計画と予算書をまとめた。国際NGOと2023年度の協働について相談中。職員の友人より、2021年度の園舎建設費用と2022年度の「村の幼稚園」事業費の一部の寄付を得た。





## ▶ II 国内事業



### 1. 資金確保のための活動

ニュースレター発送時、募金のチラシを同封し、支援をお願いした。2022年度の保育事業に対する助成金9件(11,660千円)を申請し、6件(5,754千円)が決定した。

### 2. 広報その他の活動

1) ニュースレター「子どもたちの明日」131号(6月)、132号(11月)、133号(2022年3月)と2021年年次報告書(6月)を発行した。2022年度は「世界難民の日」「世界こどもの日」にちなんで講演会や募金キャンペーンを実施予定。

2) コロナ禍により対面での活動が制約されたため、支援団体にオンラインで報告会を実施した。2022年度は大学や支援団体などへの活動紹介や事業報告を計画している。

#### 3) 「みんなで布チョッキン」

例年布チョッキンに参加いただいている企業や団体の中で、オンラインでの開催、在宅での活動などを継続していただいたところもあるが、全体としては減少した。一方、小中学校からSDGs教育の一貫として布チョッキンに関心を寄せていただくことが増えている。募金が難しい小学生向けの人形の顔の下絵を描く「みんなで布チョッキン smile」という枝分かれプログラムをつくり、参加があった。

4) 2022年度カレンダーを過年度にフォトジャーナリスト高橋智史氏撮影の未掲載写真を使用して製作し362部を販売した。2023年度カレンダーも製作予定。

5) 織物在庫の展示委託販売を藍染めカフェ(深谷)とサクラモヒラ(大宮)で継続した。

### 3. ボランティア・インターンとの協力促進

定例「ボランティアデー」は開催せず、年次報告書のレイアウト、ニュースレターの原稿確認や発送作業など、随時、ボランティアをお願いし、延べ39名の方々が、総計127時間のボランティア活動にご参加いただいた。

### 4. 管理

事務局運営は在宅テレワーク制度を活かし、常勤1名、非常勤2名で行った。

定例理事会を以下の日程で開催し、会の運営や事業の進捗状況を確認、協議した：

4月24日(第100回)、7月27日(第101回)、10月28日(第102回)、1月25日(第103回)

## 2021年度 数字とグラフで見る 幼い難民を考える会

### ▶ 活動計算書(要約)

(自2021年4月1日至2022年3月31日)

(単位：千円)

科目	2020年度決算	2021年度決算	増減	2022年度予算
<b>I 経常収支</b>				
1 会費収入	1,703	1,253	△450	1,350
2 寄付収入	17,555	15,458	△2,097	14,304
3 事業収入	1,249	1,301	52	5,754
4 補助金収入	8,600	5,882	2,718	1,350
5 その他収入	△102	-	102	0
経常収益計	33,146	23,894	△9,252	22,758
<b>II 経常費用</b>				
1 事業費				
(1) 人件費	6,169	6,139	△30	4,991
(2) その他経費	7,339	7,187	△152	7,920
事業費計	13,508	13,326	△182	12,911
2 管理費				
(1) 人件費	9,052	9,829	777	11,452
(2) その他経費	5,688	4,703	△985	2,779
管理費計	14,740	14,532	△208	14,231
経常費用計	28,248	27,858	△390	27,142
当期経常増減額	757	△3,964	△4,721	△4,384
<b>III 経常外収益</b>				
1 その他収益	108	1,409	1,301	0
経常外収益計	108	1,409	1,301	0
<b>IV 経常外費用</b>				
1 固定資産除却損	1,565	-	-	-
2 その他費用	70	70	0	0
経常外費用計	1,635	70	0	0
当期正味財産増減額	△770	△2,555	△1,785	△4,384

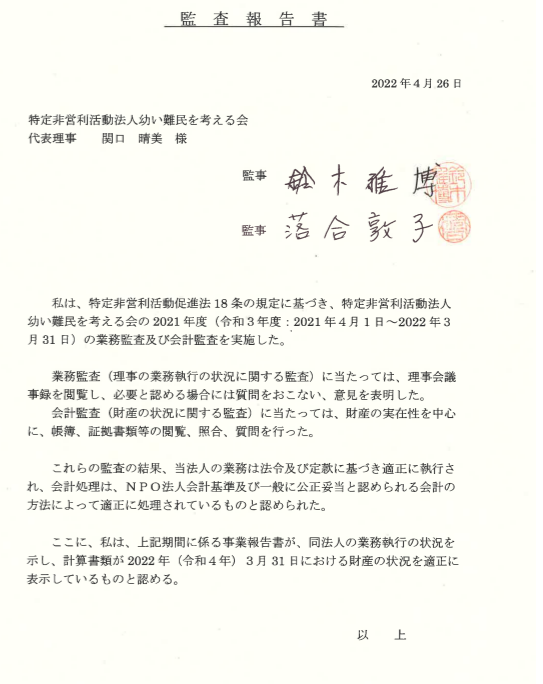
### ▶ 貸借対照表(要約)

2022年3月31日現在

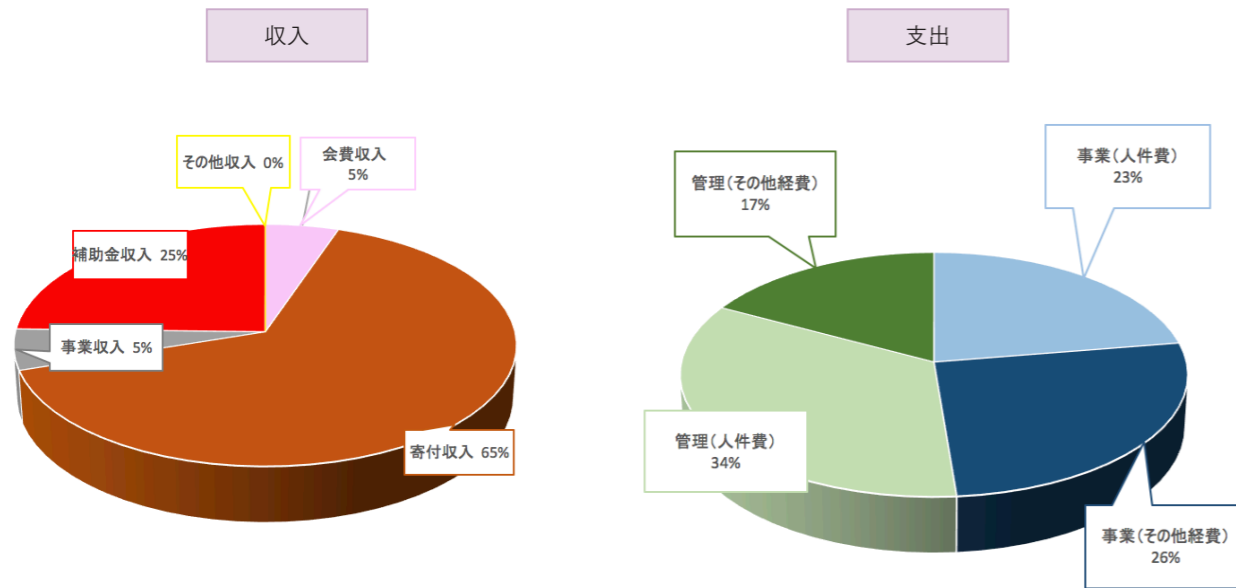
(単位：千円)

科目	
<b>I 資産の部</b>	
流動資産	34,062
固定資産	165
資産合計	34,227
<b>II 負債の部</b>	
流動負債	1,056
固定負債	4,389
負債合計	5,445
<b>III 正味財産の部</b>	
前期繰越正味財産	31,406
当期正味財産増減額	2,625
正味財産合計	28,781
負債及び正味財産合計	34,227

1. 会員数が減ってきている事により会費収入は減少傾向にある。
2. 寄付金収入は前年度から26%減少。「みんなで布チョッキン」募金の減少が大きい。
3. 東京の事業収入は受注製作したピダンの売上を含む。
4. 前年度比で見ると、収入は9,252千円減、経費は390千円減、収支は前年度比4,721千円のマイナスとなった。



▶ 2021年度 収入・費用の内訳



▶ 2021年度事業部門別 活動計算書

(自 2021年4月1日 至 2022年3月31日) (単位: 千円)

科目	合計	カンボジア事業		国内事業	
		保育	組織強化・管理	広報・事業	管理
<b>I 経常収益</b>					
会費収入	1,253	0	0	0	1,253
寄付収入	15,458	4,673	2,800	2,000	5,985
事業収入	1,301	0	0	1,301	0
補助金収入	5,882	3,882	2,000	0	0
その他収入	0	0	0	0	0
経常収益計	23,894	8,555	4,800	3,301	7,238
<b>II 経常費用</b>					
人件費計	15,968	2,333	3,744	3,847	6,044
その他の経費計	11,890	6,216	1,792	1,563	2,319
経常費用計	27,858	8,549	5,536	5,410	8,363
<b>III 経常外収益</b>					
受取利息・外国為替換算差益	1,409,357				
経常外収益計	1,409,357				
当期正味財産増減額	△ 2,555				
前期繰越正味財産額	31,406				
次期繰越正味財産額	28,781				

▶ 2022年度事業部門別 活動予算書

(自 2022年4月1日 至 2023年3月31日) (単位: 千円)

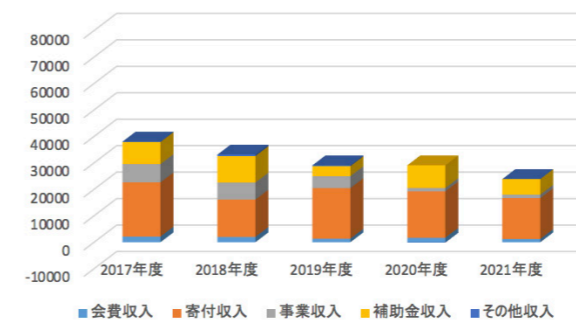
科目	合計	カンボジア事業		国内事業	
		保育	基盤強化・管理	広報・事業	管理
<b>I 経常収益</b>					
会費収入	1,350	0	0	0	1,350
寄付収入	14,304	3,604	3,738	1,440	5,522
事業収入	0	0	0	0	0
補助金収入	5,754	5,754	0	0	0
その他収入	1,350	0	1,000	350	0
経常収益計	22,758	9,358	4,738	1,790	6,872
<b>II 経常費用</b>					
人件費計	16,443	2,586	5,549	2,306	6,002
その他の経費計	10,699	7,242	837	678	1,942
経常費用計	27,142	9,828	6,386	2,984	7,944
当期経常増減額	△ 4,384	△ 470	△ 1,648	△ 1,194	△ 1,072
当期正味財産増減額	△ 4,384				
前期繰越正味財産額	28,781				
次期繰越正味財産額	24,397				

▶ 活動収支年度別推移表

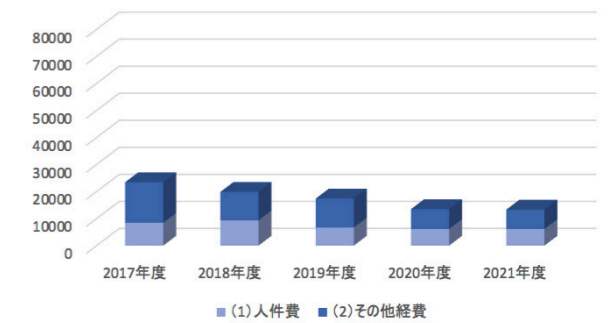
(単位: 千円)

科目	2017年度決算	2018年度決算	2019年度決算	2020年度決算	2021年度決算
<b>I 経常収支</b>					
1 会費収入	2,149	2,039	1,383	1,703	1,253
2 寄付収入	20,505	14,105	19,107	17,555	15,458
3 事業収入	6,906	6,436	4,505	1,249	1,301
4 補助金収入	8,337	10,014	3,770	8,601	5,881
5 その他収入	146	552	313	△ 102	0
経常収益計	38,043	33,146	29,078	29,006	23,894
<b>II 経常費用</b>					
1 事業費					
(1) 人件費	8,468	9,378	6,720	6,169	6,139
(2) その他経費	14,995	10,514	10,704	7,339	7,187
事業費計	23,463	19,893	17,425	13,508	13,326
2 管理費					
(1) 人件費	9,193	6,037	7,962	9,052	9,829
(2) その他経費	4,849	5,014	5,144	5,688	4,703
管理費計	14,042	11,052	13,107	14,740	14,532
経常費用計	37,505	30,945	30,533	28,248	27,858
当期経常増減額	537	2,201	△ 1,454	757	△ 3,964
<b>III 経常外収益</b>					
当期正味財産増減額	△ 70	△ 70	△ 70	△ 1,459	1,409
当期正味財産増減額	467	2,131	△ 1,454	△ 769	△ 2,555
前期繰越正味財産額	31,103	31,570	33,701	32,176	31,406
次期繰越正味財産額	31,570	33,701	32,176	31,406	28,781

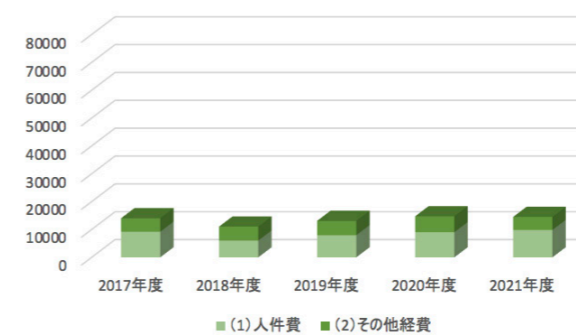
経常収入の内訳推移



事業費の内訳推移



管理費の内訳推移



経常収入の内訳推移

会員や寄付者の減少により、過年度5年間の平均より会費収入が65万弱、寄付収入が295万弱減少している。

事業費の内訳推移

織物事業の終了により、2020年度より事業経費が減少し、2021年度も前年度と同程度で推移している。

管理費の内訳推移

人件費、経費共横ばいで推移している。しかし、2021年度より事業費を上回り、管理費偏重の支出構造となっている。

## 幼い子どもと女性の自立のために当会を支えている人々と団体

(2021年4月1日～2022年3月31日入金分を記載しています)

### ▶ 2021年度 補助金・助成金を通じてご支援いただいている企業・団体

• 一般財団法人ゆうちょ財団	-----	883,506 円
• アジア生協協力基金	-----	832,976 円
• 日本労働組合総連合会	-----	1,300,000 円
• 特定非営利活動法人 WE21 ジャパン厚木	-----	800,000 円
• 花王ハートポケット倶楽部	-----	1,000,000 円
• フェリシモ基金	-----	964,241 円
• 全日本自治体労働組合（自治労）福岡県本部	-----	700,000 円

### ▶ 2021年度 寄付者（10万円以上の団体、あいうえお順）

幼い難民を考える会チャリティ・バザーグループ	特定非営利活動法人 WE21 ジャパンかながわ
株式会社一五不動産情報サービス	特定非営利活動法人 WE21 ジャパンたま
キューピー株式会社	特定非営利活動法人 WE21 ジャパンみどり
世田谷聖母幼稚園	株式会社ビジネスパートナー
全国友の会	三菱商事株式会社
東京海上日動あんしん生命保険株式会社	ライフティ株式会社
特定非営利活動法人 WE21 ジャパン伊勢原	株式会社ロイヤリティマーケティング

### ▶ 2021年度 「布チョッキン募金」寄付者（10万円以上の団体、あいうえお順）

• アクセンチュア株式会社	• ハンモックツリー
• MS&AD ゆにぞんスマイルクラブ	• 丸紅株式会社
• 株式会社ジェーシービー	
• 東京海上日動あんしん生命株式会社	<b>実施協力団体</b>
• 教覚寺女性の会	• 公益財団法人フィランソロピー協会
• サントリーユニオン横浜支部	

## わたしたちの組織

### ▶ 会員数・寄付者数・役員・職員

会員数

内訳	2016年3月末	2017年3月末	2018年3月末	2019年3月末	2020年3月末	2021年3月末	2022年3月末
個人	328	284	241	215	135	144	127
団体	9	9	7	8	7	6	6
学生	3	4	4	3	1	0	0
計	340	297	252	226	143	150	133

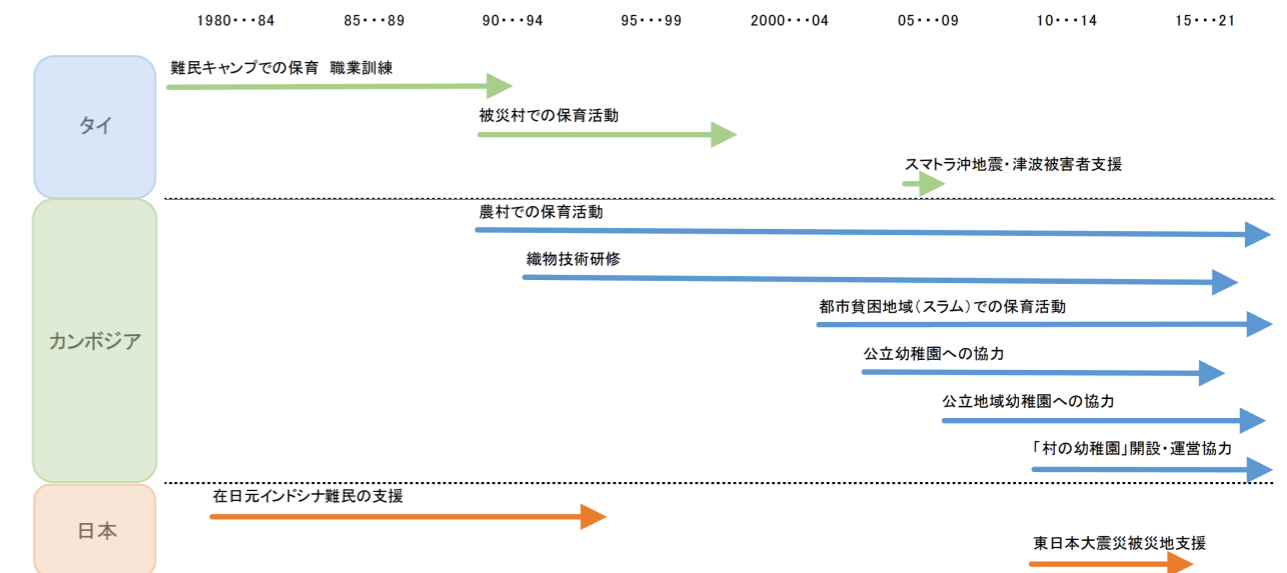
寄付者数

	2016年3月末	2017年3月末	2018年3月末	2019年3月末	2020年3月末	2021年3月末	2022年3月末
計	452	523	438	441	442	393	393
個人	357	445	348	379	370	328	346
団体	95	78	90	62	72	65	47

役員

2022年3月末現在	職員
代表理事：関口 晴美	2022年3月31日現在
副代表理事：大垣 洋子	東京事務局：3名（事務局長 片山 美紀）
理事：草野 榮雅	プノンペン事務所：7名（所長 チャン・スレイ）
理事：藤川 祥子	
監事：鈴木 雅博	2022年4月1日現在
監事：落合 敦子	東京事務局：3名（事務局長 片山 美紀）
	プノンペン事務所：7名（所長 チャン・スレイ）

### ▶ 活動履歴





# 幼い難民を考える会の理念

幼い難民を考える会、その原点「カオイダン難民キャンプ」から42年。  
掲げる「理念」は、私達の活動の根幹として変わることなく受け継がれている。

## Children, Our Future

今日の子どもの幸せが、明日の平和な世界へつながります。

1980年、内戦により難民となったカンボジアの子どもたちがタイ国境の難民キャンプの恵まれない環境のなかで少しでも人間らしい環境と必要な配慮のもとで暮らせるようにとの願いから、幼い難民を考える会（CYR）の活動は始まりました。

難民キャンプ閉鎖後は、復興をめざすカンボジアの農村で子どもたちが安心して暮らせる環境づくりと女性の自立を支援する活動に取り組んでいます。

会の名前を「難民の子ども」ではなく「幼い難民」としたのは、子どもという独立した人格を尊重する立場から、子どもたちの成長が守られて初めて、祖国を逃れてきた人たちの、あるいは、その国の自立の問題に結びつくと考えたからです。

また、「考える会」としたのは、助けるという意識がしばしば相手の自立を侵したり、相手を管理する体制に陥りがちであることを認識し、難民問題をいろいろな側面から考えていきたいという会の基本姿勢に根ざしています。

私たちはこれからも、さまざまな理由により厳しい境遇に置かれている子どもたちの健全な成長を支援し、その保護者たちが人間らしい生活環境のもと自立できることをめざしてひとつひとつの小さな積み重ねを大切にしていきます。そのことが、難民を生み出さない、明日の大きな平和を創る力となることを、信じています。



### ■ プノンペン事務所（2020年10月下旬に移転）

Borey Piphub Thmey Chhouk Va III  
#55, St. 05, Prey Sala Village, Sangkat Kakab,  
Khan Posen Chey P.O Box 12,  
Phnom Penh, 12406, Cambodia  
Email: info@cyk.org.kh  
URL: www.caringforyoungkhmer

### ■ 東京事務局（2020年8月同ビル内で移転）

〒110-0016  
東京都台東区台東1-12-11 青木ビル3B  
TEL: 03-6803-2015  
Email: info@cyr.or.jp  
URL: http://www.cyr.or.jp

会費のお振込み、活動へのご支援は、こちらまでお願いいたします。  
月いち募金参加者を募集しています。

郵便振替 00110 - 8 - 36227  
三菱UFJ銀行 六本木支店（普通）1351747  
特定非営利活動法人 幼い難民を考える会

\* CYRは、認定NPO法人です。ご寄付は、寄付金控除の対象となります。

2021年度年次報告書 2022

発行日：2022年7月 発行者：藤川 祥子

紙面レイアウト：松下 旦